

## はるばる来ました！ M-1 Hの丁場

### JSC 貿易部ニュース インド編

新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のお引き立てを賜りありがとうございました。本年も相変わらずご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

さて、皆様、平成最後年末の紅白歌合戦をご覧になりましたでしょうか？

5年ぶりに北島三郎さんが特別出演致しました。やはり、「さぶちゃん」は、紅白にはなくてはならない存在ですね～(^)

「さぶちゃん」と言えば、私の子供時代、お茶漬けのCMでも流れていましたこの曲……

「はるばる来たぜ～函館～♪」「鮭茶漬けだよ～♪」懐かしいですね～(^)



私にとっても印象深い「さぶちゃん」の一曲でございます。(^^)

さて、2019年新春第一弾となる今月号ではM-1 Hの丁場を訪れた際のお話をさせていただきます。

M-1 Hの丁場へ行くにはまず、ハイデラバードという都市に向かいます。インド中南部のテランガナ州の州都でもあるこのハイデラバードは、マイクロソフトやグーグル等世界の名だたるIT企業が巨大なオフィスビルを構えています。アメリカのシリコンバレーのような街並みになっていて、「ハイテクシティ」とも呼ばれ、IT人材を求め世界中から資本が集まっているのです。

ちなみに、現在インドには約300万人のITエンジニアがいると言われており、新たに毎年20万の学生がIT産業に就職しているようです。グーグルの現最高経営責任者(CEO)のスンダー・ピチャイ氏は、子供時代を、我々にも馴染み深いクンナム産地

近くのチェンナイで過ごし、そして、インド工科大学（カラグプル校）を卒業し、2004年にグーグルに入社したそうです。



写真はニュース記事からですが、母校のインド工科大学カラグプル校で、未来のIT産業を支える在校生と触れ合うスUNDER・ピチャイ氏です。皆さん超エリートなのでしょうね～。

昨年秋には、そのインド工科大学の分校のハイデラバード校で、IT人材確保のために、日本企業による合同就職説明会も開かれたそうです。

そんな、ハイテクシティーのハイデラバードを目指して、チェンナイから出発致します。



チェンナイからハイデラバードの距離は680km程度ですが、飛行機移動には時間を要します。

今回の出張では、AM00:30に起床し、ホテルを1:00にチェックアウト、チェンナイ空港に向かいます。



AM4:00チェンナイ発の飛行機に乗り込みました。

出来るだけ効率良く移動して、限られた出張日数の中で、多くの仕事をしたいので、やや強行スケジュールとなっております(^\_^;)

お客様とご一緒する場合はもう少し、余裕あるスケジュールをお組み致します。

AM6:00頃ハイデラバード空港に到着しました。



到着した安堵感と、寝不足のナチュラルハイの中、「Welcome to Hyderabad」の看板を見て思わず一人で、ロずさんでしまいました。

「は～るばる来たぜ、ハイデラバード～♪」



## さていよいよ本題の石のお話です。

ハイデラバード空港から車で出発、途中朝食を取り、約3時間、ようやくM-1Hの丁場に到着致しました。

昨夜、0時に出発してから約10時間です。はるばる来ました「M-1H」です。



M-1Hは周囲にも数か所の堀口があるのですが、他の堀口はキズや流れも多く、この数か月間、なかなか購入に踏み切れませんでした。

しかし、今回実際に訪問し、現在状態の確認し、比較的よい写真の堀口の原石をチェックしました。



同じ堀口でも、目の粗い石、細かい石があります。緑が強く良質な細目の原石を慎重に選びました。

写真では分かりづらいですが、上の二つの木っ端は目粗です。下の木っ端は目細です。







原石の一部は、日本の得意先様用に横浜港に向けて出荷します。残りは厦門港へ向けて出荷し当社のパートナー工場に送り、墓石製品を生産していきます。

旧正月明け後には生産準備が整う予定でございます。出来る限りお求めやすい価格帯でご提供させていただきますので、皆様、どうぞよろしく願いいたします。楽しみにしててくださいませ～！！

今回も、最後まで読んで下さり有難うございました。

皆様にとりまして、本年も、幸多い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

2019/01/01